としょかんワークショップ(8月8日:20代編) 詳細記録版

<開会> 9 : 1 5

生涯学習課菊池

皆さん、おはようございます。本日も、としょかんワークショップ「みんなで話そう未来の図書館」<20代編>にご参加いただきありがとうございます。本日は、第1回目に引き続き、花巻市で作ろうとしている新しい図書館のことを考える機会として、さらにワークショップを重ねていきます。また同じことをやるのかなと思われるかもしれませんが、生涯学習の中では「学びと活動の循環」という言葉が使われることがあります。これは、学習することで地域社会に貢献したいという力と、貢献したことでさらに学びたくなる。そうした考えを生かしていくというものです。ワークショップもそうした「学びと活動の循環」の考えに当てはまるのではないかと思います。ワークショップをすることで一人で考え、みんなで考え、結果が役に立ち、また繰り返し進化しながら考えるという循環が、地域社会の貢献につながるということは大変意味が深いことだと思います。本日も、皆さんから沢山のアイデアを聴きたいと思います。皆さんに愛着を持って利用してもらえる、そんな図書館を考えたいと思います。

<あいさつ>

生涯学習課菊池

まずは、開催に先立ちまして花巻市生涯学習部長の市川から一言ご挨拶申し上げます。

生涯学習部長

皆さんおはようございます。天気が悪い中お集りいただきありがとうございます。前回の皆さんの意見を拝見し、とても面白いなと思いました。非常に現実的な意見、また、ちょっと変わった意見などもありましたが、全部やる気になればできるんじゃないかと先生もおっしゃいましたが、とても我々では考えつかないような意見があり、若い皆さんの意見はとても参考になるなと思いました。今回それをまとめながらまたいい図書館を作っていきたいと思いますので、短時間ではありますが、皆さんの叡智を結集してもらい新しい図書館のためにご尽力をお願いします。

生涯学習課菊池 ありがとうございました。

<アドバイザー紹介>

生涯学習課菊池 本日

本日も、前回に引き続きアドバイザーとして富士大学から早川先生にお越しいた だいております。先生からもご挨拶いただければと思います。

富士大学早川教授

皆さんおはようございます。先ほど市川部長からもありましたが、前回のワークショップが終わった後、市川部長と小動物のことを話しました。図書館で小動物なんて飼えるのだろうかと。実現させる場合、たとえば、小動物担当の職員をつけなければならないわけですね。それはできますね。あとは、小動物が苦手なお客様への対応、えさ代、部屋代、全部予算化していく。動物が具合悪くなったときの獣医さんの確保が必要ですね。前回非常に楽しかったです。今日も「私は、僕は、こういう図書館だ

ったら行く」という思いを大事にしてください。「こんな図書館ができれば毎日でも行く」という思いがないと魅力的な図書館は難しいと感じています。こんな図書館ができれば毎日行く、友達家族知り合いに自信をもって勧められる新しい図書館ができればいいなと思います。日本全国に誇れる新しい花巻の図書館ができればいいなと思います。図書館は拠り所であって、花巻に住んでる方、図書館を使っている方の自慢になるような図書館になればいいなと思います。感想も読ませていただきましたが、「非常に楽しかった」という感想が多くありました。理想を多くの人と語り合えるのは非常に楽しいですよね。年齢を重ねると理想を忘れがちになってしまいますが、ぜひ「こんな図書館だったら私は毎日でも行く」という思いを大切にして今日のワークショップに参加していただくことを期待します。

生涯学習課菊池

ありがとうございました。ちなみに本日の司会を務めるのは前回に引き続き生涯 学習課の菊池です。よろしくお願いいたします。

前本日のスケジュールについてですが、

9:25~10:25 60 分間 ワークショップ

10:25~10:35 10 分間 休憩(換気します)

10:35~10:40 5 分間 早川先生からアドバイス

10:40~11:40 60 分間 ワークショップ

11:40~12:00 20 分間 発表

12:00~12:15 15 分間 講評・事務連絡

12:15~ 解散

を予定しております。

なお、この会場ですがコロナ対策のため定員以内での利用となっておりますし、お互いに距離が離れていますがキープディスタンスということで会場を作っています。時々換気などを行っていきます。マスクの着用や手洗いなどは各自でしっかりとお願いします。また、事務局では特に飲み物の準備はしておりませんので、熱中症対策として各自で水分補給をお願いします。途中、具合や気分が悪いなどありましたら、遠慮せずに近くのスタッフにお声がけください。これからワークショップに移りますが、その前に少しアイスブレイクを行います。

(アイスブレイク)

<ワークショップ>9:25~

生涯学習課菊池

今回も前回に引き続きグループワークで進めていきます。

まずは、参加者交流から始めます。各テーブルには参加者とテーブルファシリテーターと呼ばれるスタッフ、また本日は花巻市立図書館の職員、司書さんも一緒にテーブルに入ります。改めて、1人30秒程度で、名前、学校や仕事、今日の意気込み、余裕があれば今朝食べた朝ごはんで美味しかったものまで含め自己紹介します。それでは5分間自己紹介を始めてください。

## (自己紹介)

ありがとうございました。皆さんのテーブルにタイマーを用意していますので、 時間管理をしながら進めたいと思います。今回の作業を説明します。前回は、「夢」 の図書館として沢山のアイデアが出ました。各班でまとめたアイデアは、本日も用 意していますし、資料としてまとめたものを皆さんに配布しています。前回、参加 出来なかった皆さんは資料などでアイデアを確認してください。今回の作業は大 きく分けて3つです。①前回のアイデアを4つの基本カテゴリに分ける。②自分た ちの中で大事だと思うものを選ぶ・選択する。③模造紙にきれいにまとめる。 ずは大きな1つ目のカテゴリ分けです。はじめは、一人で組み合わせを再整理して いきます。時間は5分間です。前回は、ある程度自由に、思い思いにアイデアを出 してもらいグループピングの作業をしましたが、今回はより現実的な考えに近づ けるために、基本となる4つのカテゴリを準備しました。①本・資料②サービス③ 環境・空間④場所です。ちなみに、前回皆さんから出されたアイデアを私(菊池) なりに4つのカテゴリに割り振りしてみました。結果、①本・資料⇒40件②サー ビス⇒71 件③環境・空間⇒148 件④場所⇒16 件でした。「夢∣の図書館を考えた 場合は、環境や空間を充実したいという意見が多かったということになります。実 際どのように、割り振りするかというと①本・資料⇒おすすめの本、読みやすい本、 いろんな職業を知れる②サービス⇒読み聞かせ、職員との壁がない、Wi-Fi③ 環境・空間⇒明るく開放感、飲食ができる、季節を感じる④場所⇒誰でも行きやす い、バス停が近い、濡れないで行けるという感じです。まずは、割り振りしてみて ください。どうしても、割り振り出来ない項目もあるかもしれません。その時は保 留で構いません。それではじめてください。テーブルファシリの皆さんも一緒に考 えて下さい。

## (個人での分類作業)

次に、一人で再整理した内容をみんなで発表し協議します。カテゴリ分けの方法ですが、模造紙を4つにエリア分けするなどします。デザインは自由です。前回のアイデアを割り振りします。模造紙に張り付けたポストイットを再利用して構いません。また、さらにアイデアを足したいという場合は、足しても構いません。その場合は、今日プラスしたアイデアとして分かるように目印を付けるといいと思います。みんなで再整理した結果、基本の4つのカテゴリではどうしても足りない場合もあるかもしれません。その場合は足していただいて構いません。逆に、いらないということもあるかもしれません。その際には、削っていただいて構いません。時間は20分です。それでは始めて下さい。

(話し合い)

一度作業を中断しご着席ください。たくさん悩んでいただきました。ここで、テーブルファシリ以外の人たちが他のテーブルにバラバラに移動し、どこでもいいですので好きなテーブルに移動し他のテーブルの様子を探る時間にします。時間は10分間です。移動が完了したら、テーブルファシリからそのテーブルで話し合われた内容を説明してもらいます。次に、それぞれのテーブルから移動してきた参加者一人ひとりからも、自分のテーブルの状況を説明してもらい、お互いに情報共有します。その後元のテーブルに戻り、お互いに聞いてきた情報を話してもらい、さらに情報の共有を深めます。時間は15分間です。他のテーブルの状況を報告しあい、頭の中の情報量を増やしていきます。ここで、さらにアイデアを足したいという場合があるかもしれません。足しても〇Kです。それでは移動してください。

## (テーブルを移動し情報交換)

それでは一度元の班に戻ります。他の班に行って情報収集してきたと思いますので、他の班はこうでした、とそれぞれ報告する時間にします。それでは各自報告をお願いします。時間は7~8分です。

(元のテーブルに戻り情報共有)

他の班の様子を聞いてきて、皆さんで情報共有をして、いろいろな情報が増え た状態になっていると思います。ここで一度休憩を取ります。

<休 憩>10:25~

生涯学習課菊池

皆さんお揃いでしょうか。後半も少しアイスブレイクをしたいと思います。(ア イスブレイク)

<アドバイス>10:35~

生涯学習課菊池

それでは、早川先生からワンポイントアドバイスをいただきます。

富士大学早川教授

皆さんのグループを見せていただいて、本・資料のカテゴリがまだ少ないグループがあるようです。重要なのは、皆さんが新しくできる図書館でこんな本・こんな音楽資料・こんな情報が手に入るのであれば私は毎日行く、というのを出してもらうことです。こんなものがあればより多くの人が来てくれるだろう、という風に考えると出やすいかなと思います。もう一つ、どこのカテゴリに入るのか、は重要ではありません。場合によっては分類できないものもあると思います。例えば、「図書館でのPR、たくさんの人に来てもらうためにはこんなことをしていかなければならない」は4つのカテゴリのどこにあてはまりますか?あてはならないですよね。ところが非常に重要な指摘です。そういうのが出てきたら分類なしでなんら問

題はありません。 重要なのは、 最初にお話しした通り、 皆さんが新しくできる図書 館に毎日でも行く、そのためにはどんな本が必要なのか。自治的なサークル活動で 使う、集会事業はいったいどこに入るのか、図書館学的に言えば集会行事活動はサ ービスに入るんですけれども、「場所」に入っていても何ら問題はありません。学 校の美術祭の作品づくりを図書館でやるといった場合に、クラフトルームがなけ ればできませんよね?絵の具を使ったり。そういう意見はどこに分類しても問題 はないです。ただし、絵の具が使える場所、汚れたら洗い流せる場所が必要、とい う意見が出てくることが大事です。分類に時間をかけることは有効ではありませ ん。もう一つ、だんだん時間が迫ってきましたので、皆さんのグループで出たので 本当に毎日行きたい図書館になってますか?皆さんが見て。皆さんが行きたいと 思わなければ、誰も行きませんからね。皆さんが魅力的な場所だ、と感じなければ 他の人に勧められないですよね。そういう感じで出していけばいいのかなと思い ます。 だんだん時間が迫ってきたら、 果たしてこれで本当に新花巻図書館は誰にで も勧められるんだ、というものが出てるかどうかという風に考えていくといいか なと思います。魅力的な案がたくさん出ています。先ほどの図書館の PR について はすでにある班から指摘がありました。どうやったら図書館の魅力を伝えていけ るのか、は分類なしですよね。そういう風な考え方で進めていけばいいのかと思い ます。以上です。

生涯学習課菊池

早川先生、ありがとうございます。早川先生からのアドバイスも含めこれから の作業に移ります。

## <ワークショップ>10:40~

生涯学習課菊池

次は作業の2つ目です。今カテゴリごとに沢山のアイデアがまとめられている状態だと思います。ここでの作業は、アイデアの中からどれが重要かを選んでいきます。カテゴリによっては、アイデアが多いもの少ないものがあると思いますが、たくさん付せんに書かれているものの中から、特に大事だと思う項目を選びます。例ではカテゴリごとに3つずつ挙げていますが、3つ以上でも以下でもいいです。さらに絞り込んだ項目は、文書にしていきます。最終的に発表できるように持っていきたいなと思います。この作業では、さらに図書館の名前「〇〇図書館」「キャッチフレーズ」「花巻らしさ」なども一緒に考えていきます。前半30分は悩む時間、後半30分で清書して発表できるような形までもってきたい、というものです。まずは前半30分です。早川先生から何かありますか?

富士大学早川教授

だんだん終わりが近づいていくと、ある程度選択が必要です。ただ最初に菊池さんからもお話がありましたが、他の人の意見を否定しないでスタートします。だんだんアイデアがたくさん出て、終わりが近づいてくると、先ほども話したようにこれで「本当に魅力的だ」と感じるものが出たかどうか、というのが重要です。じゃあ新しい図書館を全市民に伝えていく、PR はどうすればいいのか、あとはサービスについて考えづらいときに年齢対象別のサービスが整っているかどうか。図

書館は赤ちゃんからお年寄りまで使います。今度はそういう風な目で点検してください。皆さんのいろいろな意見に、ある程度やわらかな優先順位をつけることも入ってきます。そこで意見が分かれることは当然あります。年齢対象別に考えれば乳幼児が来て2時間過ごせる本・資料があるか、初めて図書館に来た80代の男性が使えるものがあるか、という見方もできます。そうするといろんな考えが出てくると思います。皆さんのテーブルを見るともう結構出てるので、あとはまとめ方だけだと思います。不足があればぎりぎりまで出していくのが大事です。細かなカテゴリ分類は生涯学習課がやりますから。そういう風に考えるといいのかなと思います。以上です。

生涯学習課菊池

ありがとうございます。こんな感じでどれが大事か考えつつ、さらに追加しても大丈夫です。今回は皆さんのまとめ方書き方が重要になってくると思いますので、そういったところも加味しながら進めたいと思います。

(話し合い)

生涯学習課菊池

最後の作業です。ペーパーにまとめていきます。(時間は30分間) 模造紙を4つのカテゴリにエリア分けなどしながら、清書していきます。タイトルみたいな感じで「図書館の名称」「キャッチフレーズ」なども書きます。模造紙には、文字の他、絵、図なども書いていいです。枚数は複数枚でもいいです。時間はここでも30分取りたいと思います。作業後は、班ごとに発表してもらいますので、発表の方法も考えて下さい。

(話し合い)

<発表>11:40~

生涯学習課菊池

それでは、各班から出来上がった図書館の全容を発表してもらいます(時間は 20分間)各班の発表時間は6分(5分)分程度でお願いします。どこから発表しますか。では3班からお願いします。

3班

3班の発表を始めます。よろしくお願いします。3班は空間、サービス、本・資料、場所の 4 つのカテゴリに絞りました。空間は子供が楽しい図書館ということで、子育て世代の交流ができることと、見て楽しいポップがある、というのを子供向けに考えました。フリーな学習スペースが 2 つ目です。飲食可能なスペースだったり、教えあいをすることでラーニングピラミッドの仕組みができて高校生にも有効かなということで考えました。次にサービスのカテゴリです。イベントを自分たちで開催することができる、またイベントが開催される、あとは図書館のスタッフの対応、加えて専門スタッフがいらっしゃって相談ができる、そして夜遅くまで開館している、です。空間から派生して本・資料は花巻や地域のことがわかる資料にすぐにアクセスできる図書館であってほしいという意見が出て、花巻祭り

だったりわんこそばだったり、そういう資料が見れたらいいなという話がでていて、あと、花巻図書館にない資料であってもすぐに取り寄せができたり、あと電子書籍がすぐ手に入れられるようにしてほしい。大学のパンフレットや就活に関する資料も充実してほしいということと、知識が常に仕入れられる資料揃えにしてほしいという話がでてました。場所について、花巻の多くの人は車を持っていると思いますが、図書館の利用者は必ずしも車を持っているわけではないと思うので、学生や高齢者の方々も利用しやすい場所につくってほしいと思います。そういう意味で駅から近い場所、高校生であれば電車で花巻に帰ってきてその後も勉強したり本を読めるように。高齢者はバスを使う人も多いと思うので、バスのアクセスも良い場所。花巻駅前を照らすような、建物で駅前に人を増やせるような図書館であればいいと思います。これが私たちのお気に入りのまた行ってみたい図書館です。以上で発表を終わります。ありがとうございました。

生涯学習課菊池

3 班さんありがとうございました。空間を上位に持ってきて、そこから広げていってもらったという感じでした。ありがとうございました。続いて 2 班さんお願いします。

2班

2班は図書館を「いーはとーぶライブラリー」とつけました。分類は未分類が1 つとサービスと本資料、場所、環境空間で分けました。まず大事だと思ったのは、 図書館の存在を知ってもらえるための方法が重要だと思いました。サービスは図 書館のサービスとして、パソコンの貸出、Wi-Fi 完備、ゲームマンガの貸出、親子 向けイベントだったり、自由研究ができる体験環境だったり郷土体験とか花巻で 何が有名かという体験講座もあるといいな、というものです。あと利用時間の充実 として打合せ時間が取れるようにだったりとか、夜遅くまでやってるといいなと いうのがでました。IoT の充実として、IC 活用の管理システムとして、カードを 使って入場して本を借りるとスマホアプリで情報管理できるといいなという話が 出ました。本と資料では全てのジャンル、全ての世代に合わせた本があるといいな ということで、マンガだったり、就活生向け、高齢者だと終活があるといいのかな と思います。あとは社会人向けにビジネスだったり、資格の本があり、かつ最新の 本にしていただければいいなと思います。場所は、わかりやすくて気軽に立ち寄れ る場所がいいと思います。具体的にいうとイトーヨーカドーのような立地のとこ ろだと、花巻市民の人はきやすいと思いますし、駅も近くてバス停もあるのでいい なと思いました。環境・空間では多種多様な空間ということで、集中できるスペー スや飲食できるスペース、会話ができるスペース、リラックスできるリクライニン グシートがあったりするスペース、子供が遊べるスペースなど、いろんなスペース に分けることです。BGM が流れる、光が差し込む明るい空間というのと、多種多 様な使用方法、例えば、座席数が多いことや、コンセントが座席についていたりと か、子供が遊べたり、寝ながら利用できるなどです。カフェや飲食店などを併設す ること、広めの駐車場駐輪場をおくこと、花巻地元の人とコラボしたデザインとい うことで、図書館のデザインにフラワーロールちゃんを入れたりとか地元に関わ

るものを入れることです。以上です。

生涯学習課菊池

ありがとうございました。図書館の存在を知ってもらうための方法ということで、図書館の存在が今は薄いのかなと感じました。その方法を示してもらったということになります。ありがとうございます。最後に1班お願いします。

1 班

1班は「ふらっとしょかん」ということで、ターゲットとしては私たち 20 代が ふらっと行けるような図書館を考えました。まず、場所ということで、駅が近くて 交通の便がいいということです。そして社会人とか働いている人が多いのでいつ でも行けるように開館時間は朝早くから夜遅くまで。環境空間として皆さんから も出ていましたが、カフェのある空間ということで、ただのカフェではなく地元密 着と書いてますが、例えば地産地消ができたりとか、勝手に話しますが、カフェの サブスクでグラスを買ってもらって、好きな時に行ってコーヒーはただで飲める みたいな、そういう毎日でも来れるようなカフェがあればいいのかなと思います。 あと、緑のある空間ということで、明るくてきれいな空間そしてうっかり寝てしま っても、今までだと怒られてたみたいなんですけども、うっかり寝れる空間、そし て子供たちとのびのびできる空間があればいいのかなと思います。サービスです が、Wi-Fi環境完備、HP・SNSが楽しい、本と資料については、資料が豊富、本 以外の資料、前回の話の中で、海外だと CD や DVD もレンタルできていいなと 思いました。最新巻が必ず入っている、電子書籍、閲覧用機器、あと最新巻や「こ れを入れてほしい」とリクエストしやすい、あと世界中の絵本、音楽スタジオ、楽 器、機材も貸し出せる、個人の考えですが駅のところや図書館の敷地を使ってライ ブとかできたらかっこいいなと思います。 あと 3D プリンターと専門家、あとデジ タル機器、ゲーム機、あと温泉も地域の資料ということでぜひ入れてほしいなと強 く思います。よろしくお願いします。最後になりますが、ふらっとしょかんという 名前が、我々20 代がふらっと寄れる場所であり、いろいろな世代がふらっと平等 に使える場所であり、そして花巻ということでフラワーのフラということで、そう いう願いを込めた渾身の名前です。以上で発表を終わります。

生涯学習課菊池

1班さんありがとうございました。ふらっとしょかんにはそういう意味が込められていたんだなという、渾身のネーミングありがとうございます。皆さんにはたくさんの意見やアイデアをまとめていただいて、うんと悩んでいただいたと思います。大変お疲れさまでした。ありがとうございます。完成品はぜひ写真に撮って帰ってください。また、壁のほうではグラフィックれコーディイングということでまとめているものがありますので、後で見ていってください。写真でも撮ってもらえればいいのかなと思います。

<講評>12:00~(16:45~)

生涯学習課菊池 あっという間の 3 時間でしたが、最後に早川先生からご講評をいただきたいと 思います。先生よろしくお願いします。

富士大学早川教授 実は私の図書館学授業で、こんな授業をやります。「だめだめの市立図書館を5

年間で蘇らせるにはどうしたらいいですか」というもので、今回のようにグループ 討議を行います。すると学生から「先生これもっとやらないんですか?」と言われ ます。いい意味で時間が足りない、と言われます。皆さんはどうでしたか?もっと 話したいと感じた方もいるかと思います。こういう風に理想を何の制約もなく語 れる機会はなかなかいないです。今回は出した理想を形にしていくという作業で した。先ほど生涯学習課の方と、もしかすると花巻らしさって出てこないかな、と 懸念していましたが、無用の心配でしたね。皆さんしっかり花巻ならではの図書館 の提案がされていたと感じました。2班からの「図書館の存在を知ってもらう」と いう意見はとても大事ですね。多くの人が「図書館は重要ですね」という認識を持 った社会になれば、新しい図書館で資料購入費 1 億円は、不可能じゃないですか らね。そのための重要な指摘だったと思います。1 班の「20 代がふらっと行ける 図書館」について、これは簡単なことではないです。皆さんどうですか?隣の紫波 の例はありますが、20 代がひっきりなしに出入りしている図書館はそんなに多く ないです。結論から言うと、東北地方には20代や30代の特に男性が多く出入り する図書館はかなり少ないです。そういう意味では非常に重要な指摘でした。20 代がふらっと行ける図書館の理想像の提案がすべての班でなされたかなと思いま す。3 班からは「図書館で大学の論文が全部読めるようにしてほしい」という意見 もありました。 どうですか?そういう図書館にいったことはありますか? 「花巻の 図書館に行けば大学で学ぶくらいの知識は手に入るんだよ」って言ってみたいで すね。大学の人間で大学に行かなくていいとは言えないんですが、仮にいろんな事 情があって大学に行けない人はいるわけですよね。岩手の大学進学率は 50%くら いですからね。半分くらいの人は行ってないわけですが、花巻の図書館に行けば大 学で学ぶくらいの知識が手に入るから、と言えるようになれば素敵ですよね。僕も 南相馬ではそれを目指してきました。「南相馬の図書館に行けば大学で学ぶ一般教 養ぐらいの知識は容易く手に入るからね | と、 それも魅力の一つかなと。 そこまで 具体的につっこんだ提案がされました。最後になりますが、皆さんやってみてどう ですかね。もっとやりたかったですかね。こういう話だと、いくら時間があっても 足りないな、というくらいでちょうどいいかと思います。花巻が新図書館の歩みを 始めているわけですが、図書館の存在を知ってもらう、今日参加された方々が新し い図書館に来て、知り合いや家族に絶対行ったほうがいいよ、という図書館ができ るのを目指していきたいなというのを感じました。いろいろ私自身も参考になる ことが多かったです。ありがとうございました。以上です。

生涯学習課菊池

ありがとうございました。皆さん本当にお疲れさまでした。皆さんで改めてお 互いに感謝したいと思います。お互いの顔を見ながら拍手をしたいと思います。

<事務連絡> 生涯学習課菊池

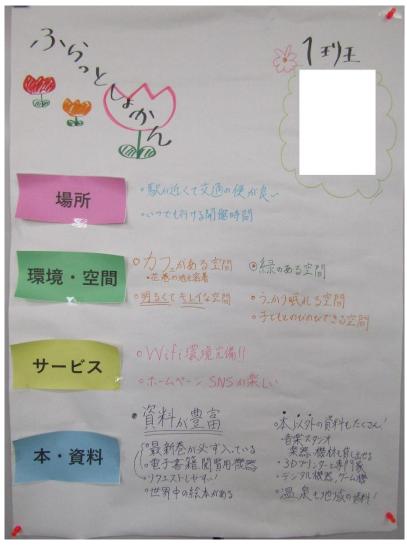
最後にお願いです。アンケート用紙を配布していますので今回参加した感想などの記入をお願いします。お願いの二つ目です。8月23日(日)から10月まで

全5回、今度は一般編のワークショップを開催します。そこで、皆さんの中から5名程度一般編にも参加してくれる方、どなたかをお願いしたいと思います。是非という方はいらっしゃいませんか?といっても、なかなか手が上げにくいと思います。出てみたい方はテーブルのスタッフか近くのスタッフに「出てみたいです」とお声がけください。ちなみに、高校生・20代編の参加者は、一般編の第3回目、9月27日から参加していただく予定です。チラシもあります。今ここで、参加が決められないという人は、ホームページのメールフォームから申し込み下さい。その際、備考欄に20代編・高校生編に参加したことを記入してください。ぜひ、参加をお願いします。それでは、アンケートの提出、ネームは回収しますのでお願いします。何か質問はありますか?1つ宣伝があります。石鳥谷の図書館でビブリオバトルを開催します。ビブリオバトルは自分がおすすめしたい本を発表します。それを何人かでやって、どういう風におすすめするかを競いあうものです。9月26日にやります。そちらのほうも興味がある方はご参加ください。講師進行役は早川先生です。宣伝でした。よろしくお願いします。

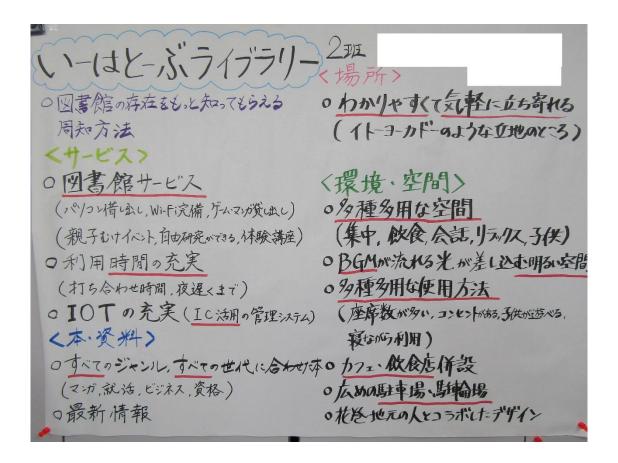
それでは、長い時間ありがとうございました。本日は、以上で終了になります。あ りがとうございました。各自気を付けてお帰り下さい。

●各班が作成した模造紙 (\*班員の氏名について白抜加工しています。)

1 班



2 班



3 班

